

日本応用地質学会東北支部『第5回研究発表会』開催報告

川崎地質(株) 黒田 進

日本応用地質学会東北支部主催の第5回研究発表会が東北地質業協会の協賛を戴き下記の内容で開催しました。

協 賛：東北地質業協会

日 時：平成9年2月28日 10時00分～16時10分

会 場：日本大学工学部 中講堂 (54号館)

参加者：72人

【特別講演】

・常時微動の工学的利用

日本大学工学部教授 森 芳信 氏

【発表講演】

- ① 三軸圧縮下のカイザー効果を用いた初期地圧推定に及ぼす側圧の影響
日本大学工学部：田邊 健太、渡辺 英彦、田野 久貴
- ② 凍結融解を受けた大谷石の圧縮特性に関する実験的研究
日本大学工学部：田中 寛史、田野 久貴、渡辺 英彦
- ③ 焼土の年代測定を試み
(株)大和地質研究所：斎藤 裕二、大村 一夫
- ④ 秋田県八竜砂丘における温水かん養試験について
東北農政局：浅野 将人、高橋 禎一、伊藤 吾一
三 祐 (株)：高田 正美
- ⑤ CGS工法による締切堤の築造
建設省東北地方建設局：渡部 秀之、安斎 功幸、宮本 浩幸
摺上川ダム工事事務所
建設省土木研究所：吉田 等、豊田 光雄、山本 裕之
ダム部フィルダム研究室
- ⑥ 南部北上ジュラ系中の断層破碎部に認められる熱水による水圧破碎作用について
東北電力(株)：橋本 修一、鳥越 裕司
- ⑦ 郡山盆地第四系の土性

新協地水会：谷藤 允彦

⑧ 強震計アレイによる 8.11 宮城県北部地震の余震観測

応用地質会：斎藤 秀樹、原 和敬、大友 秀夫

⑨ 新規溶結凝灰岩中のトンネル地質調査

復建技術コンサルタント：太田 保

特別講演においては、常時微動の基礎的知識、測定時の注意等、基本的な事項から測定結果の利用方法まで、実測データを基に講演がなされた。

一般的に常時微動は耐震設計時に利用されていることが多い。しかしながら、今回の講演において i. 卓越周期と軟弱層の厚さ、ii. スペクトル比と盛土の厚さ、および締固め度、iii. 常時微動の波形と地盤の違い等に良好な相関が認められることから、地盤調査にも有効な調査方法であることが説明された。

また、地すべり不安定領域と安定領域の区分および傾斜変動方向まで推測できることなど、幅広い利用方法についての講演は、地質調査・研究・施工に携わる者にとって大いに参考となるものであった。

研究発表は i. 室内試験・実験に関わるもの 3 編 (①, ②, ③)、ii. 現場実験に関わるもの 1 編 (④)、地質および地質調査に関わるもの 3 編 (⑥, ⑦, ⑨)、地震観測に関わるもの 1 編 (⑧)、施工に関わるもの 1 編 (⑤) と多岐にわたっており、質疑応答も活発に行われた。

今回、初めて仙台の地を離れ郡山市で実施されたが、地元の会員からの多くの発表がなされたこと、福島県内で実施されている摺上川ダムの施工についての紹介が行われたことは有意義であり、今後、このような行事が他県にも広がっていく期待が感じられる発表会であった。

なお、発表会終了後、同所において懇親会が行われ、盛況の内に終了した。

